

令和2年度 学校自己評価システムシート (県立久喜高等学校 定時制)

e03

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

目指す学校像	個に目を向け、基礎学力の充実を図り、生徒全員の進級・卒業・進路希望を実現できる学校
重点目標	1 生徒の授業参画意識を高め、一人一人に応じた学びを支援し、基礎学力の向上を図る。 2 健やかな心身の育成を図り、将来の生き方を考えさせ、希望進路の実現を図る。 3 学校情報を積極的に発信し、地域の期待と信頼に応え、地域とともに歩む学校を推進する。

達成度	A	ほぼ達成 (8割以上)
	B	概ね達成 (6割以上)
	C	変化の兆し (4割以上)
	D	不十分 (4割未満)

出席者	学校関係者	名
	生徒	名
	事務局(教職員)	名

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。 ※番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学 校 自 己 評 価					学 校 関 係 者 評 価			
年 度 目 標				年 度 評 価 (月 日 現 在)			実 施 令 和 年 月 日	
番 号	現 状 と 課 題	評 価 項 目	具 体 的 方 策	方 策 の 評 価 指 標	評 価 項 目 の 達 成 状 況	達 成 度	次 年 度 へ の 課 題 と 改 善 策	学 校 関 係 者 か ら の 意 見 ・ 要 望 ・ 評 価 等
1	【現状】 落ち着いた環境の中で授業が行うことができ、生徒の授業態度も良好である。しかし、学習の振り返りが必要な生徒や学習習慣が身につけていない生徒、不登校傾向の生徒、日本語が母国語でないため日本語の理解力が不足している生徒等がいる。 【課題】 個々の生徒が抱える課題の解決に向けて、効果的・継続的な支援を、全教職員の共通理解の下で行う必要がある。	○学習習慣等の確立を目指した生徒支援体制の充実	①生徒の学習習慣の確立や、基礎学力の向上を目指した指導法を検討し実践する。 ②主体的、対話的な深い学びを引き出す授業の取組や、観点別評価など評価方法について検討する。	①成績優良者数増加や成績不振者数減少が実現できたか(昨年度、成績優良者20%、欠点保有者0%)。 ②生徒アンケートで、授業改善への効果が表れたとの回答の割合が多かったか。				
		○個々の生徒の課題を把握して個に応じた課題解決のための取組を推進	①教育局の各事業を通して、全教員の共通理解の下、質の高い支援を行う。また専門的な意見を受ける機会を定期的に設ける。 ②スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの専門性を生かし、相談窓口の充実を図る。	①個々の生徒の課題解決を教員共通理解の下で、組織的・継続的に支援できたか。また中途退学者数が昨年度より減少したか(昨年度4名)。 ②生徒アンケートで、相談・支援等の体制が整っていると回答した割合が多かったか。				
2	【現状】 生徒の問題行動は少なく落ち着いた環境にある。また、計画に基づいた進路指導も成果が出ている。 【課題】 毎年、多様な生徒が入学しており、教員間で共通理解に基づいた組織的な生徒指導が必要である。交通事故ゼロに向けた取組の継続も必要である。 卒業時の進路未決定者ゼロ、特に就職希望者は正社員での決定を目指した指導が今後も必要である。	○共通理解に基づく組織的・継続的な生徒指導の推進と生徒支援体制の充実	①基本的な生活習慣が育つよう、学校行事、授業を通して指導する。 ②交通安全の意識を高めるよう、生徒指導関連の行事を効果的に行う。	①生徒アンケートにおいて、基本的な生活習慣や社会のルール・マナーを守る態度を育てることに努めていると回答した割合が多かったか。 ②交通事故発生件数ゼロが実現できたか。				
		○生徒の進路希望を踏まえ、第1希望を実現する組織的・計画的な進路指導の推進	①進路行事を見直し、効果的な進路指導を行う。 ②進路意識を高揚させるため「高校生自立支援事業」等を活用し、進路に関する講演会、就労体験等を行う。	①卒業時の進路希望を実現できたか。 ②「高校生自立支援事業」を効果的に活用し、生徒アンケートで「進路についての考えるようになった」が増加したか(昨年度79%)。				
3	【現状】 学校情報を様々な場面を通じて発信している。 【課題】 定時制教育への理解と、社会に開かれた教育課程へ向けた取り組みが必要である。	○工夫・改善した積極的な学校情報の発信	①学校説明会、夕方の説明会、保護者向けの公開授業を実施し、定時制について理解を深めてもらう。 ②学校新聞の発行とホームページを適宜更新し、定時制教育への理解を広める。	①参加者の満足度、参加人数が増加したか(昨年度 学校説明会10組、夕方の説明会9組、公開授業0人)。 ②生徒アンケートで「家庭への情報提供を積極的に行っている」が増加したか(昨年度81%)。				